



令和 4 年 5 月 31 日 (火) 例会 (第2839回) 報告 (晴) No.2667

出席率 …… 28/38 73.68% 第2837回補正出席率 …… 38/39 97.44% コロナ対策例会

欠席者 小坂、島谷、庄司、友森、中村、浜田(一)、福嶋、堀田、村山、山崎

メイクアップ(クラブ協①) 20名 **(夜話集会)** 29名
(親睦委) 10名 **(IM報告書委)** 5名

出席免除 足立、木村、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆**会長時間** 中田耕治 会長

今日から75日遡ると3月18日になります。この日、私はコロナ自宅療養最終日でした。「人の噂も七十五日」と言いますが、何故七十五日なのでしょう？昔、1年間を春夏秋冬の四季に土用を加えた五季節と考えていたワンシーズンの75日、農作物が収穫出来るまでの期間の75日、語呂が良いから等、諸説ありますが、季節が変わる頃には噂話もみんな忘れるだろう！という大らかな話です。

また、季節にも一年を24に分けた「二十四節気」。二十四節気を更に5日に細分化した「七十二候」とあり、現代でも生活の暦として使われています。その二十四節気では今ちょうど「草木が繁って天地に満ち始める」小満の頃になります。ロータリーの活動も、次の三輪年度に向けてのクラブ協議会が先週始まりました。これから準備が満ち始める、そう言う意味ではぴったりの時節です。

◆**幹事報告** 赫 太郎 副幹事

◎友末GE事務所より「2022-23年度地区世界社会奉仕プロジェクト案内」 ◎RI日本事務局より「2021-22年度版クラブ・地区支援リソース集」 ◎岩崎G並びに第2680地区吉岡ガバナリーより「ご報告とお知らせ」が届く

5月創立記念日祝い

1日 島谷一憲 11日 小坂勇次
1日 渡邊冬樹 23日 川田一郎
7日 酒井博淳 各会員



◆**6月行事予定(ロータリー親睦活動月間)**

6/7(火) 例会/理事会
14(火) 第2回クラブ協議会(18:30~ 上道公民館)

◆**委員会報告**

◎**野球同好会**…酒井 英 監督

3年ぶりに5RC野球リーグが再開されます。同好会の新規

— **スマイルBOX** —

◎創立祝 川田、酒井(博)、定秀、渡邊(冬) ◎出席表彰 中木 ◎卓話がんばります! 定秀 ◎定秀会員の卓話、楽しみです。内田、瀬戸、谷田、赫、中田、北國 ◎3年ぶりの5RC野球リーグ大会、よろしく! 酒井(英) ◎えびす・だいこく100kmリレーマラソン、「チーム岡空」完走しました。岡空 ◎マグロ初水揚げ、おめでとございます! 高瀬 ◎スマイルに協力 黒田、小林、屬、松本(勝)

加入と継続を確認中。メンバーの方は7月の会費請求で同好会費を徴収させていただきます。試合は6/16(木)19時~米子市民球場にて、米子東RCと対戦。人数が足りませんので、多数ご参加下さい。

◆**例会変更**

| | | |
|---------|----------------|----------|
| ☆米子東RC | 6/15(水) 夜間例会 | ビジター受付あり |
| | 6/22(水) 休会(定款) | ビジター受付無 |
| ☆米子中央RC | 6/16(木) 夜間例会 | ビジター受付あり |
| | 6/23(木) 休会(定款) | ビジター受付無 |
| ☆米子RC | 6/17(金) 夜間例会 | ビジター受付あり |
| | 6/24(金) 休会(定款) | ビジター受付無 |
| ☆米子南RC | 6/20(月) 夜間例会 | ビジター受付あり |
| | 6/27(月) 休会(定款) | ビジター受付無 |

— **プログラム** — 「**コロナと観光 その2**」

定秀陽介 会員

約1年前に「コロナと観光」という卓話をしましたので、今日はその続きです。コロナもだいぶ落ち着いてきました。ゴールデンウィークは多くの観光地が賑わい、水木ロードもコロナ前の8割まで戻ったそうです。インバウンドも団体もない中、かなりの回復だと思います。



この2年間で、全国の旅館のおもてなしの形も大きく変わりました。旅館ではお部屋までのご案内を廃止し、ご自身でお部屋に向かってもらったり、入浴人数や会食人数を制限したりと、旅館の醍醐味の多くが失われたような気がします。早く通常の温かい接客ができるようになればと思います。

旅行者の動きも変わり、マイクロツーリズムが主流になりました。その延長で、近隣の修学旅行も頻繁に来るようになる中、米子の中学生との意見交換で、美保関に来たことない人が8割に上るのには驚きました。修学旅行は京都・奈良・広島、USJ(ユニバーサルスタジオ・ジャパン)やTDL(東京ディズニーランド)、北海道・沖縄などが全国的に主流ですが、それらの場所は大人になれば大半の方が必ず訪れると思います。山陰の高校生は卒業したら多くが県外に出ます。その前に、修学旅行を通して地元で宿泊し、ふるさとの良さや楽しさを知ることで、外の世界に出たときに故郷の事を語ったり、友を連れて旅行に来たり、さらにはUターンにつながるのではないかと思います。地方創生が叫ばれる今、コロナ禍が終わった後も、地元近隣での旅行や修学旅行を促す制度が、国や自治体に残ってもいいのかなと強く思います。

今回(6月7日) **ワロケラム**

「本年度回顧」
五大奉仕委員長

次回(6月14日) **ワロケラム**

「さよなら卓話」
会長・幹事・SAA